

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	子ども読書活動推進事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
対象・受益者	全市民、乳幼児～高校生	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働：各地区の推進協議会】		
	目的・目標		事業の概要
身近なところに本と出会える環境・機会を整えることで、子どもの読書への興味・関心が喚起され、人生をより豊かに生きるための知性や感性がはぐくまれています。		各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全市的な読書活動を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	子ども読書活動推進事業数(平成27年度から)			単位	事業数
	説明・算定式	子ども読書活動推進事業事務局、フォーラム、ネットワークでの事業数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			3		
	実績			3		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	子どものレファレンス件数(平成26年度から)			単位	件
	説明・算定式	中央図書館子ども室の窓口で受けた読書相談や参考調査の件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		650	870		
	実績		876	486		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
全15中学校区の子ども読書活動推進協議会の代表者会議を3回開催しました。市民と行政が協働して実行委員会を組織し、読書活動の重要性を広く啓発するために、8月に子ども読書活動推進フォーラム(361名参加)を開催しました。各協議会から任意で参加する委員で組織した子ども読書活動ネットワーク運営委員会(11回会議を開催)の情報誌「LINK」の発行(2回)や図書ボランティアの交流のためのイベントとして「パネルシアター作製講習会」「本読みマラソン」を開催しました。						
平成27年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、本市の「平塚市子ども読書活動推進計画」を策定して、これにより行政と地域が連携して行う事業として推進しています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子どもが本と触れ合える機会の提供、読書に関する環境整備が進むことで、学校だけでなく地域や公民館等あらゆる場で取組みが推進され、子どもや保護者の読書への関心が高まり、活動の満足度が高まっています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域・学校・家庭が連携して読書活動を推進するという全国的に見ても先進的な取組みです。事業の実施主体は、市が委託する中学校区ごとの推進協議会であり、職員は活動に対しての支援をしており、妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市の直接事業でなく、学校や公民館で活動している地域ボランティアによる協議会へ委託していることから、事業コストは最少限度です。費用対効果は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 図書ボランティアの人材確保の難しさや協議会活動への参加に難色を示されていることなどから、活動が困難になっている協議会が一部あります。協議会運営の負担軽減策を提示しましたが、今後もそれぞれの地域の実情にあった図書ボランティア活動を尊重しつつ、図書に関する情報提供や講習実施などの支援を行い、活動が充実できるよう、サポートを継続します。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		家庭・地域・学校の連携強化による、より一層の図書ボランティア充実	子ども読書活動推進、平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)策定	家庭・地域・学校の連携強化による、図書ボランティア活動の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,336	1,398	1,186
事業費 (A)		1,336	1,398	1,186
執行率 (%)		96.81	94.46	85.94

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 地域や学校での図書ボランティアの活動において、地域の実情に合った連携強化を進め図書ボランティアがより充実して活動できるようサポートに努めます。また、平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)の中間評価を実施し、平成28年度実施報告書を作成します。
課長コメント 家庭・地域・学校の連携強化による、より一層の図書ボランティアの充実を図ります。平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)を踏まえ、今後、各中学校区の子ども読書活動推進協議会において、地域の実情に合った活動が充実して行えるよう、図書館全体で図書ボランティアを支援し、事業を推進していきたいと考えています。